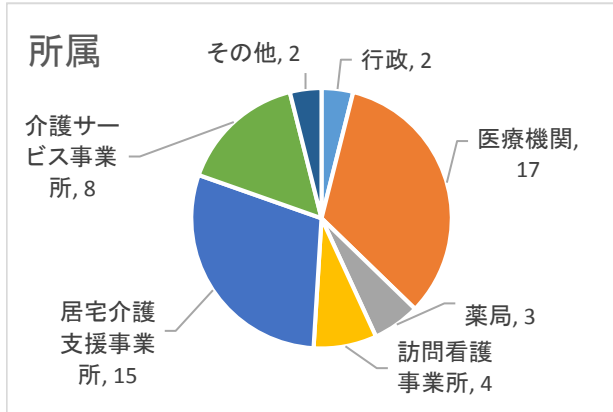


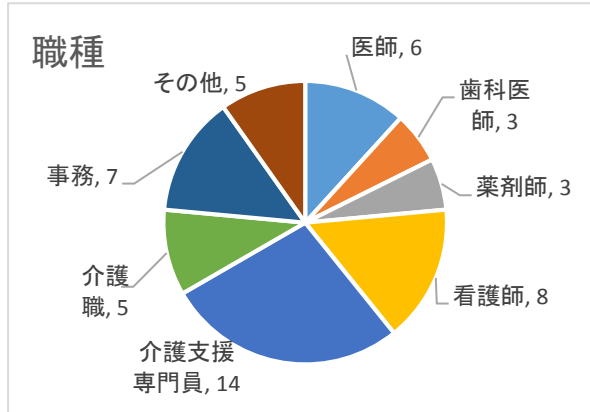
平成29年度 11月11日 第5回多職種連携研修会 アンケート
 調査対象者:研修参加者56名中51名 回収率91%

1、あなたのご所属と職種を教えてください。

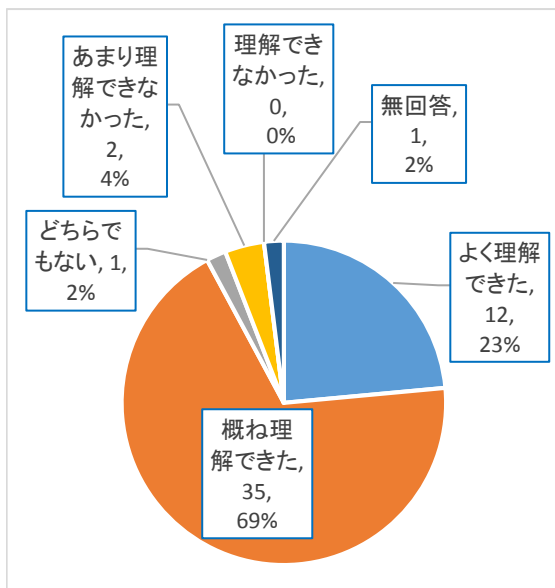
【所属】



【職種】



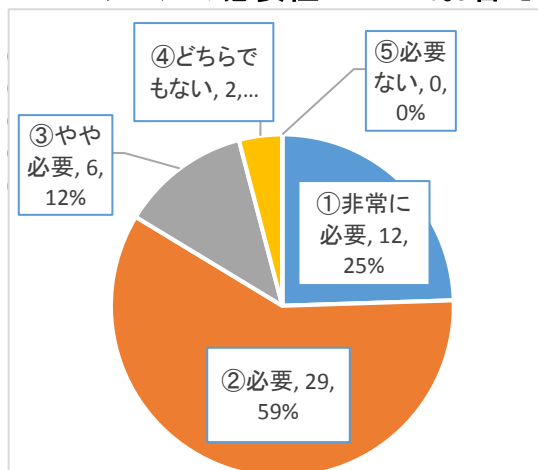
2、講演「IoTを活用した地域包括ケア」について理解できましたか？



是非、感想をお聞かせください。

- 共有に大賛成。重複(二重入力)の手間についてもう少し考えたい。
- 明解な話で明るい未来が示されたのは良かった。人的資源が課題だと思う。
- 連携が大事だと思いました。
- リアルタイムで情報共有するにはどうしたらできるか？忙しいとなかなか見れないが・・・
- SSMIXに対応した電子カルテの必要性を感じた。
- 介護予防・重症化予防・生活支援…出来る限り支援してきたつもりでしたが、数字でみると厳しいですね。介護保険が周知されたとも考えられますか？介護は家族がするもの。という考えから解放されたとも考えられますか？(ただの一人言です)
- 理解できたようで理解できていない。
- IoTによる地域包括ケアの推進はとても大事だと再認識させていただきました。ありがとうございました。本人・家族もチームの一員として、一緒に活用できると理想です。
- 健康医療信託事業について初めて知りました。とても面白いし、重要なことだと思いました。

3、本研修が終了し、改めてお伺いします。
 ICTツールの必要性についてお答えください。



「①②③選択(必要)」を選択した理由

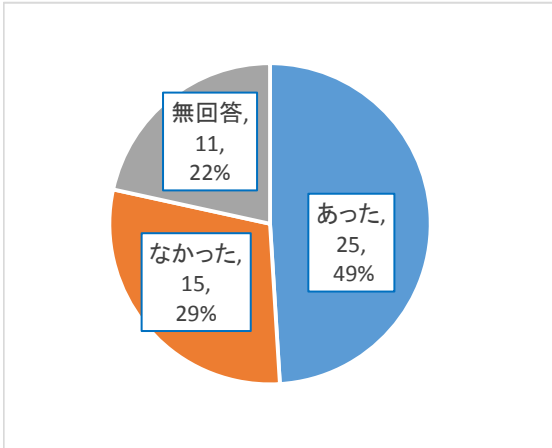
- 連携の大切さ。
- 本人様の状態がわかるため。
- 他事業所との情報共有のため。
- 多職種での情報共有は必要。
- 簡単に共有できると良い。
- 医療と介護の垣根を払うきっかけとして。
- 情報共有ができる時代が来ているので、それを活用するのは当然だと思うため。
- 紙ベースだと、他事業所が返信している内容が分からない。ケアマネから発信がないと、そこで情報が止まってしまうため、ツールがあると情報共有できて、良いと思う。
- 多職種の人々が、もっと活用できれば利用者のより良い在宅生活に繋がると思うから。

- ビックデータにより、作業効率が上がると思っているし、利用者様の前で何でも終わると思うため。
- 特に医師との連携が取れると、とても便利だが、今以上、仕事が増えるのが正直辛い。

「④どちらでもない」を選択した理由

- 仕事が増える。

*** 研修前と後では(良くも悪くも)気持ちの変化はありましたか？**



「どのような変化ですか？」

変化が「あった」を選択した方の回答

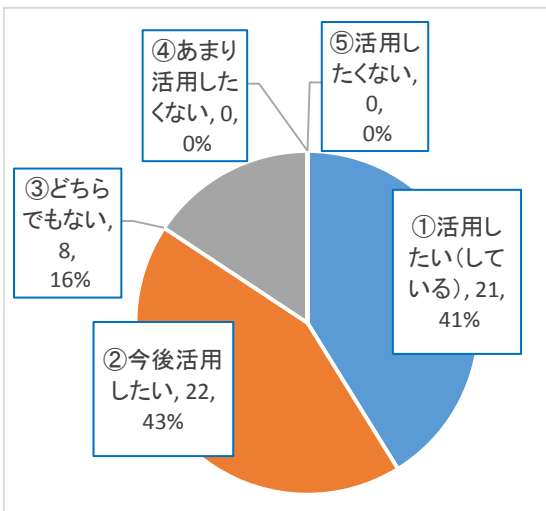
- やはり、必要。
- 必要性の高さを感じた。
- 便利なのは良くわかった。
- 全事業所の足並みはいつ揃うのか？
- より前向きに考えられるようになった。
- がんばろうと思うようになった。
- 連携のため、頑張って入力します。
- 前は必要ないと思っていました。
- 新たな事を始める事自体、大変だと思う。
- 活用が進まないと思っていたが、活用出来ると思った。
- ICT、Bigデータ活用による医療費削減事例があることに驚いた。

- すべての職種の協力の元で、自立支援を支えていくのだと思いました。
- 全体的に良く把握できた。やりがいのある医療・介護に、頑張りたい！
- IoTを活用した多職種連携は必要であることを講義を聞いて再確認できた。
- IoTを活用することで、多職種でのタイムリーな連携が取りやすくなるように思いました。これから必要な物であると思いました。
- はち丸ネットワークという存在を名古屋に引越してくるまで知らず、便利なサービスがあることを知る事ができた。

変化が「なかった」と選択した方の回答

- 変化はなかったが、必要性は感じる。また、スムーズな意見交換ができると思うため。

4、情報提供について はち丸ネットワークの活用についてお答えください。



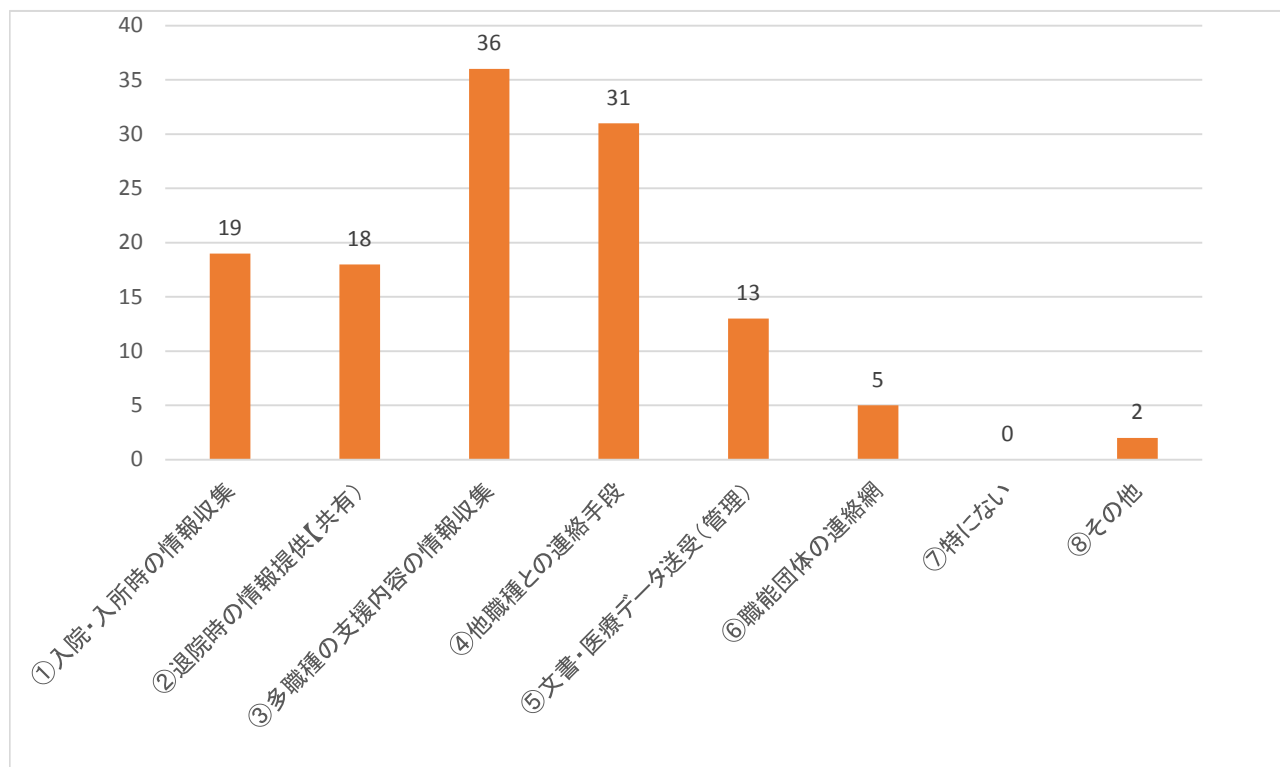
①活用したい②今後活用したい を選択した理由

- 活用しています。
- 現在も活用しています。
- 既に活用している。再確認ができた。
- リアルな情報を知りたい場面が頻繁にあるため。
- 情報共有が密にできる。Drとの関わりが少ないので、このツールを利用して深く関わりを持ち、情報を共有し、指示や考えを教えてもらいたい。
- 活用に慣れる事が必要だと思います。研修方法について、南区で使用方法について、医師会・全事業所が1年以内で出来るようにしていく事が必要か。

③どちらでもない を選択した理由

- 現時点では、活用できる立場にない。

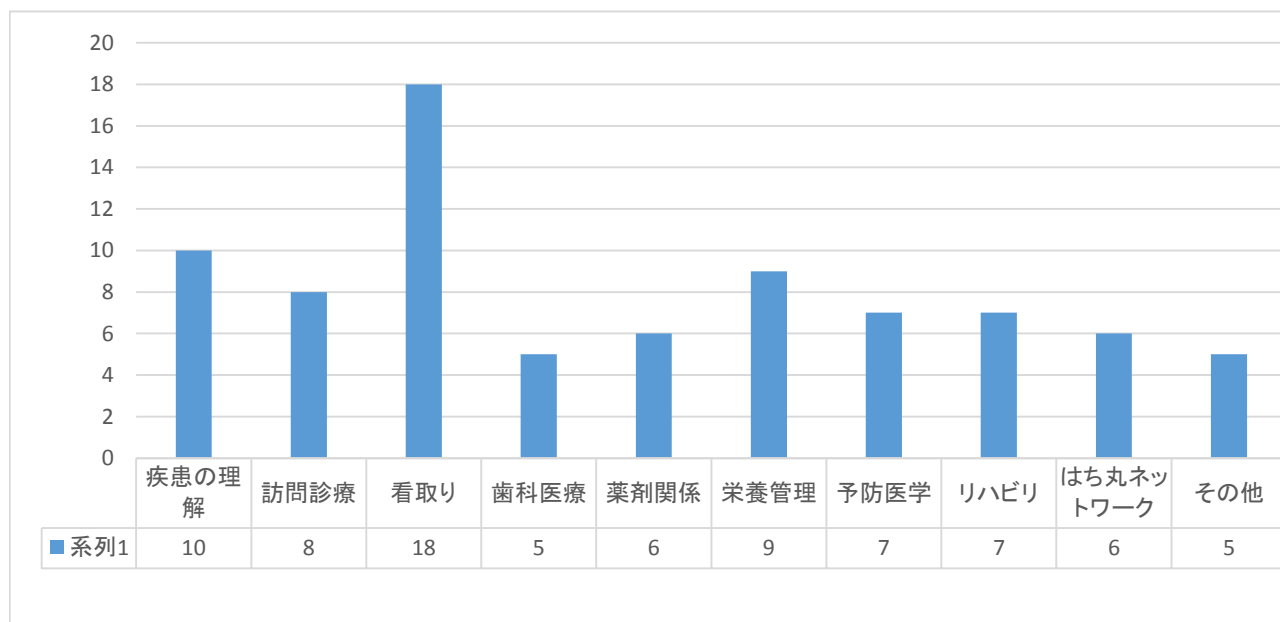
どのような場面で活用できそうですか？



⑧その他

- 同職種間の情報共有
- 看取りの際の方針

5、今後の医療・介護連携に関する研修会で取りあげてほしいテーマを教えてください。



その他

- エンド・オブ・ライフケア
- 精神疾患の既往がある方の支援ネットワークの方法について
- 身寄りのない方、生活水準(保護以上)の低い方への支援受け皿。
- 患者の側からの発信
- 意思決定支援
- 任意後見制度

6、本日の多職種連携研修会についてお気づきの点や感想、ご意見があれば教えてください。

- 南区の多職種連携の大切さをとても感じました。もっと頑張っていきたいと思います。
- とにかく最初ですので、よく勉強して参加したい。
- 南区をよりよい地域にするにはどうすれば良いのか。専門職だけでなく、一般市民の方とも考え、話し合っていけると良いと思います。
水野先生の講演、とても良かったです。有難うございました。
- 今後、電子支援手帳で連携していければ、情報が早く共有出来て、助かる事が増えていくのだと思いました。
すごく良い経験をさせて頂きました。ありがとうございました。
- より多くの人たちに理解していただければ、参加者も増えると思います。
- 実際の活用事例を知る事ができて良かった。まだまだ、利用者が少ない現状ではありますが、少しでも参加者を増やせるよう、ケアマネとして、はち丸ネットワークの活用の参加を促す声かけやサービス担当者会議で話し合いの場を設けるように心がけたいと思います。
- アセスメント・連携ツールの情報シートを共有するため、共通したシートで連携できるよう、是非、実現してほしいです。本日は、有難うございました。
- 一つ一つ繋げる事が大切。何を目指していくのかが明確になったように思います。今が一番楽しいと関わる私達も思えるようになったら、早く実現に向かえらと思いました。有難うございました。
- 私のように、まだはち丸ネットワークが広く周知されていないことと、導入している所、していない所があったりで、完全に統一できないことが残念。もっと広く周知されるよう研修会を開いて頂けると嬉しいです。
南区は医療・介護に力を入れているので、研修は勉強になります。有難うございました。
- 今後のケアマネジャーの立ち位置はどうなるのか？また、どうしていくべきか？
- 自分は、現金派で、カードで他人に買い物の中身がみられるのは嫌だと考えていた。
しかし、今日の話で平常の買い物などから、その人の生活が安定的に行われているかどうかが見える。
これを利用することも可能だと（プログラムでおかしな買い方について、警告がされるようなことも可能だと）気がつきました。ただ、管理されたくない人をどうするかが課題だと思います。
- お金持ちだけが、サービスを利用できるシステムではないでしょうか？安価で平等に受けられるのであれば、素晴らしいと思います。
- はち丸ネットワークについての質問時間がほしかった。